

平成 24 年 11 月 1 日

質 問 書

横 浜 市 長
林 文 子 様

横浜環状道路（圏央道）対策連絡協議会（連協）
会 長 比留間 哲生

早速ながら「広報よこはま」市版平成 24 年 11 月号の内容に関して私達として理解し難い疑問点があり、公務ご多忙中とは存じますが、ご検討の上可及的速やかにご説明ご回答下さるようお願い致します。

言うまでもなく、市民に対する行政の広報活動は市政の根幹に関わるものとして、正確な情報を提供することが不可欠であり、そこに誤りや虚偽が含まれることは決して許されないのであります。しかるに上記広報では 1 頁全面にわたり横浜環状道路関連の記事と図が記されていますが、そこには看過できない疑問点があり、このままでは私達だけでなく全市民にとっても到底納得できないものと考えます。そして以下疑問とする 2 点について質問致しますので納得のいく説明をお願い致します。

1. 本文記事にこんなに近くなります！と題して「南線が整備されると、横浜都心と中央道八王子 JCT の所要時間は現在の約 2 時間 30 分から約 55 分に短縮されます。また、関越道鶴ヶ島 JCT への所要時間は現在の約 2 時間 50 分から約 1 時間 25 分に短縮されます」と記されています。これらの数値がどのようなデータをもとに出されたものか、各路線毎の所要時間を明示して説明して下さい。
2. 図面に横浜環状道路が褐色で表示され、脚注で北西線、北線、南線が夫々事業中となっているが西線という名称はなく、横浜環状道路西側区間という名称で紫色で表示されています。これは横浜環状道路全体の半分以上を占めるもので、環状道路としては極めて重要な区間であります。それがなぜ西線と言わず西側区間と呼称するのはなぜか理由を説明されたい。またこの区間はその他の路線として計画中となっていますが、その計画はいつの時点でのような形で横浜市として計画したか、について具体的に説明下さい。

以上 2 点についてご検討の上早急にご説明ご回答下さるようお願い致します。

以上